

(財)女性のためのアジア平和国民基金

第54回理事会

平成13年9月

第54回理事会議事録

1. 開催日時

2001年9月25日（火） 18:00-21:00 スクワール麹町 5階「寿」

2. 定足数の報告

事務局から、理事の現在数は14名、出席理事11名、委任状による出席理事3名で、寄付行為第28条に定める定足数を満たしている旨の報告があった。

〔出席理事〕 有馬真喜子理事、衛藤清吉理事、石原信雄理事、伊勢桃代理事、
大鷹淑子理事、大沼保昭理事、下村満子理事、宮崎勇理事、
村山富市理事、山口達男理事、和田春樹理事

〔委任状出席理事〕 金平輝子理事、笹森清理事、福山真功理事

〔監事〕 橋本豊監事

〔オブザーバー〕 内閣官房 後藤参事官、古矢事務官
外務省アジア大洋州局地域政策課 曾根首席、野依事務官、
中野事務官、古屋事務官

〔事務局〕 斉藤総務部長、叶渉外部長、松田業務部長、山崎事務員

3. 議事録署名人の選出

議長に一任、議長は有馬真喜子理事、宮崎勇理事を指名した。

4. 報告

村山理事長より、9月18日に経団連の理事会で募金の要請をしたことが報告された。

5. 議題

(1) 募金の現況について

伊勢事務局長より、募金の現況が報告された。

(2) 償い事業終了に関する運営審議会の報告

山口理事より、第57回運営審議会（6月4日）と第58回運営審議会（6月26日）で審議された内容が報告された。

(3) 償い事業の現況について

オランダについて

7月13日に開催されたオランダの終了式について、山口理事より式典の様子が報告された。

フィリピンについて

有馬理事より、8月12日に申請が締め切られたことが報告され、今後の日程の見込みなどが話された。

また、フィリピンの社会福祉省より、償い事業終了後、「慰安婦」も含めた高齢者向けの施設を作ってもらえないかという要請があったことが報告された。こ

のことについては、草の根無償に関連した事業として、外務省で検討中である。

韓国について

和田理事より、韓国を訪問したときの状況（8月31日～9月3日）が報告された。

台湾について

下村理事より、台湾の償い事業の現況が報告された。

その他について

- ・償い金が不足した事態を見越して、政府と共同して資金対策を検討していく必要があることが確認された。
- ・基金に対し、政府の積極的対応が強く要望された。
- ・大沼理事より、事業終了に向けてメディアの活用が重要で、毎月1回程度は、メディア（できれば、日本系、アジア系、欧米系別々が理想）と懇談会を設けて記者との意思疎通をはかってほしいという意見があった。

(4) 第3回ラウンドテーブルについて

和田理事より、第3回ラウンドテーブルの様子が報告された。

(5) 償い事業終了と基金ニュースに関する企画について

基金ニュース19号（2002年2月を予定）と20号（2002年5月を予定）の扱いについて、運営審議会に諮問し、検討していくことで合意された。また、発行時期と回数については、臨機応変に対応できるようにしていくことで了解された。

(6) 小冊子「『慰安婦』問題」とアジア女性基金（仮題）について

小冊子「『慰安婦』問題」とアジア女性基金（仮題）の原稿が配布され、10月15日を目処に意見を事務局まで提出してもらい、和田理事がとりまとめて最終案を作成することで了解された。

以上をもって、理事会は議了したので、議長は閉会を宣した。

この議事録が正確なものであることを証するため、下記に署名押印する。

平成13年9月25日

議長（理事長）

村山富市 

議事録署名人（理事）

有馬真喜子 

同（理事）

宮崎 勇 